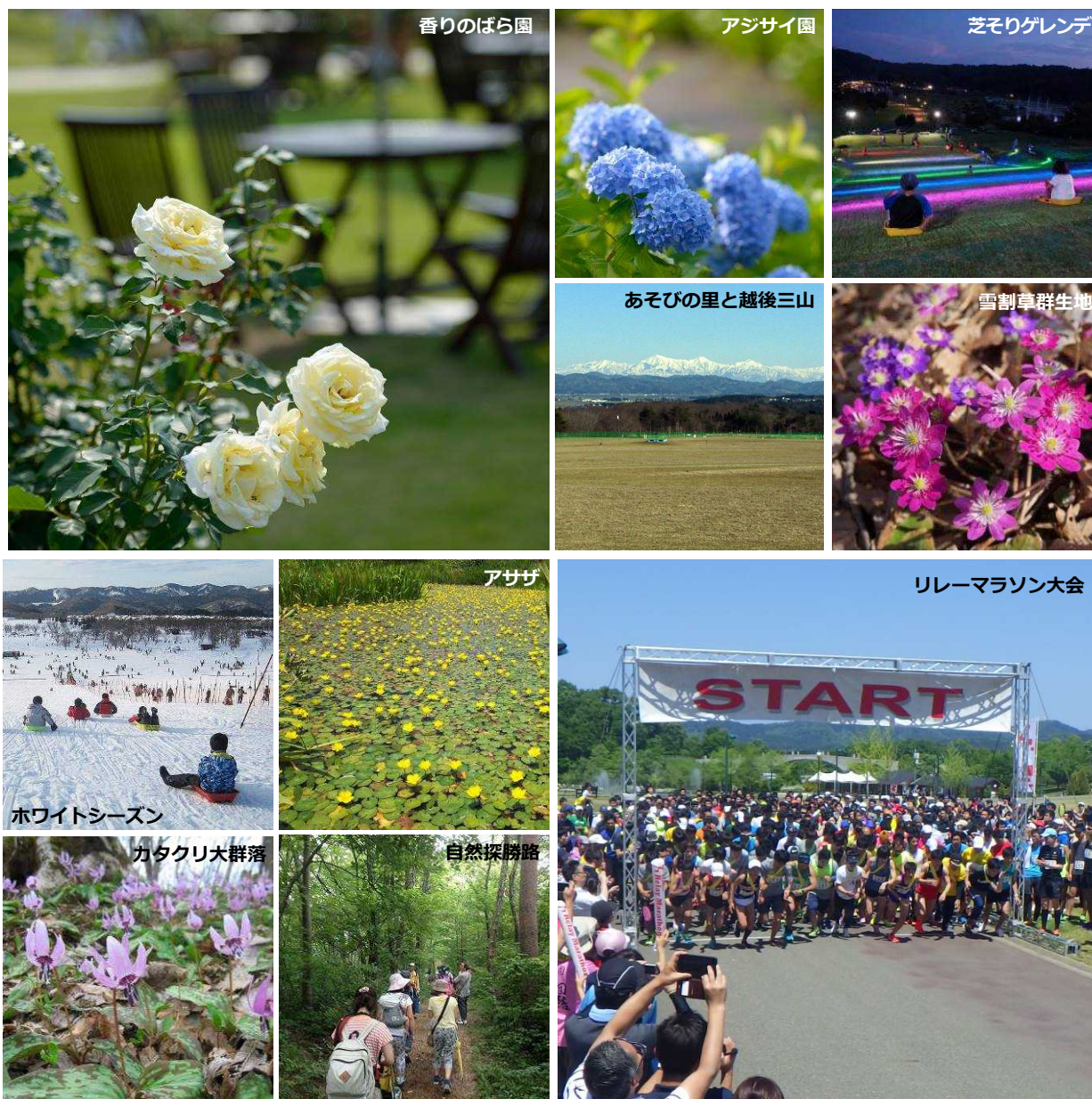


国営越後丘陵公園

整備・管理運営プログラム



令和3年6月

国土交通省北陸地方整備局

1. 全体計画及び開園状況

国営越後丘陵公園は、レクリエーション需要の多様化、交流の拡大など広域的レクリエーション需要の増加に対応するために、全国で13番目、北陸地方初の国営公園として、新潟県長岡市において平成元年度より事業を進めています。公園から100km圏内に新潟県上・中・下越地域の大半を含み、首都圏までは概ね200kmの距離に位置しています。

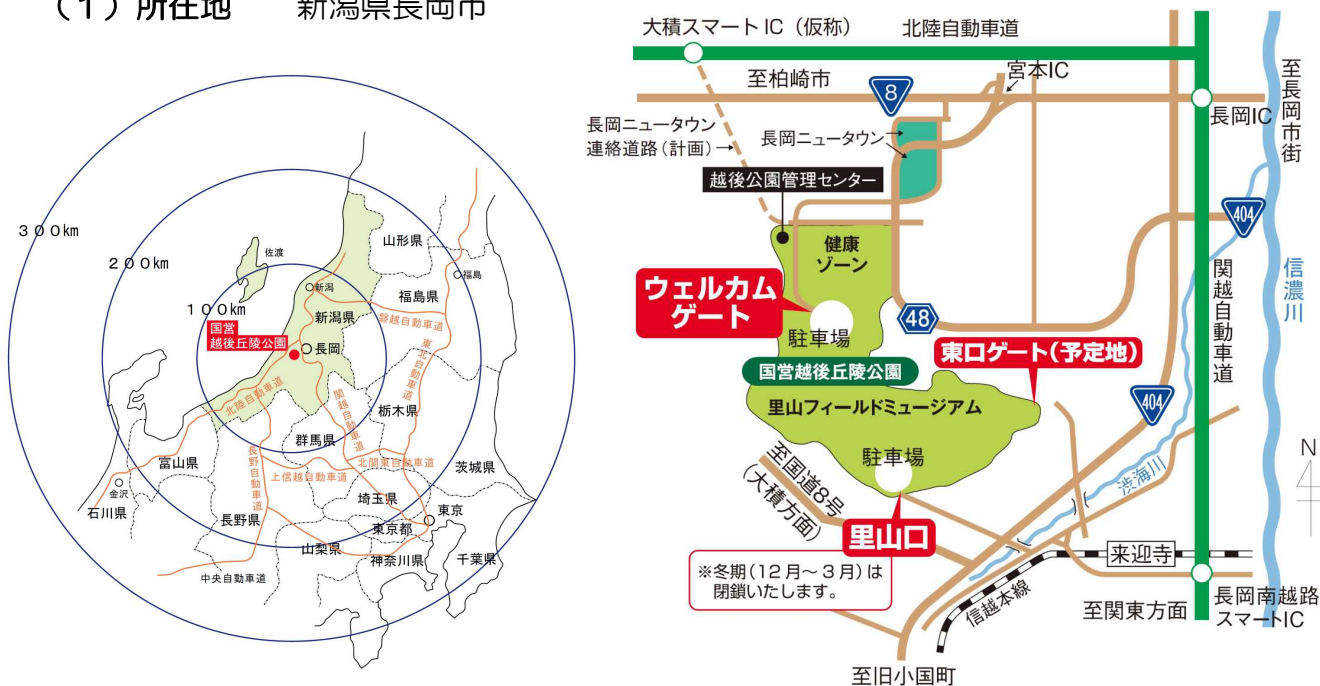
当公園は、関越自動車道長岡IC及び、長岡南越路スマートICから至近の距離に位置する良好な交通条件や恵まれた自然条件を活用し、雪国の風土を活かしつつ、四季を通じて誰もが広々とした園内で遊び、色とりどりの花を楽しみ、里山の自然や暮らしを知ることができることを目指し整備を進めています。

また、園内の各施設はユニバーサルデザインを基本とし、誰もが安全・快適に利用できるように整備を進めています。

管理運営にあたっては、園内の豊かな自然環境や地域の観光資源を活かし、地域のボランティア等との連携のもと、里山の自然環境とのふれあいの機会の提供や、イベントの充実、効率的な管理運営等を進めています。

1. 全体計画

(1) 所在地 新潟県長岡市



(2) 全体面積 398.6ha

(3) 整備着手年度 平成元年度整備着手

(4) 基本テーマ 「天に学び、地に遊び、人と集う、越の里」

(5) 基本方針

1) 恵まれた自然資源の保全と活用

2) 多様なレクリエーション需要への対応

3) 通年利用を可能に

4) 古き文化の継承と新しき文化の育み

5) 地域社会との交流を深め地域に貢献

(6) 全体構成



健康ゾーン(約 120ha)

広域的なレクリエーションに対応した、四季を通じて多様に利用できる広場空間のゾーン。



里山フィールドミュージアム (約 280ha)

雪国越後の里山を復元し、自然資源を活かした様々な体験学習の開催や雪国の里山情報の発信を行うゾーン。

また、かつての雪国里山の暮らし体験と、自然にやさしいこれからのライフスタイルの体験の場を提供していくゾーン。



あそびの里

2. 供用の経緯

昭和 62 年度に長岡市川西地域西部の丘陵地を国営公園候補地として決定し、平成元年度より事業に着手しました。平成 3 年度より健康ゾーンの工事に着手し、平成 10 年 7 月 30 日に健康ゾーンの一部 29ha を開園しました。その後整備を進め、平成 15 年度には健康ゾーン約 120ha が概成しました。里山フィールドミュージアムは、平成 15 年度より整備に着手し、令和 2 年 4 月までに 217.3ha を開園しました。

年 度	主 な 施 設	累計開園面積
平成元年度	事業着手	
平成 2 年度	都市計画決定 (398.6ha)	
平成 3 年度	工事着手	
平成 10 年度	健康ゾーンの一部開園(29ha) (緑の千畳敷、銀河の丘、越の池、イングリッシュガーデン、暖の館、天・地・人のフォリー、駐車場 など)	29ha
平成 11 年度	展望台開園 (18ha) (ふれあいの森、フォリーの丘、展望台、園路 など)	47ha
平成 12 年度	健康ゾーン追加開園(25ha) (駐車場、園路及び樹林地 など)	72ha
平成 13 年度	花と緑の館管理棟及び自然探勝路橋の開園(0.3ha)	72.3ha
平成 14 年度	自然探勝路及び樹林地開園(47ha)	119.3ha
平成 15 年度	花と緑の館(休憩棟)追加開園 (0.3ha)、ばら園開園	119.6ha
平成 19 年度	里山フィールドミュージアムの一部開園 (20ha) (里山ふれあいエリア)	139.6ha
平成 20 年度	里山フィールドミュージアムの追加開園 (9ha)	148.6ha
平成 21 年度	総合センター開所 (1.5ha) 里山フィールドミュージアムの追加開園 (5ha)	155.1ha
平成 24 年度	里山フィールドミュージアムの追加開園 (143.3ha)	298.4ha
平成 30 年度	あそびの里の追加開園 (40ha)	338.4ha

3. 開園している主な施設

1) 健康ゾーン

※…冬期休止

名 称		写 真	施設概要
緑の千畳敷	遊具エリア※		ローラーすべり台やターザンロープ、ころりん城など、26 種類の大型アスレチック遊具があります。
	ふわふわドーム※		白い山型の巨大なトランポリンで、とんだり跳ねたりすべったり、思いっきり遊べます。
	緑の千畳敷		ウェルカムゲートから入って正面にある、直径300mの大きな芝生の広場。1周1kmの円周路があり、大ケヤキがシンボルです。
越の池	音楽噴水※		30分毎に異なる音楽に合わせて噴水が上がり、音と水の競演が楽しめます。
	水遊び広場※		ウォーターマシンガンやウォーターステップなど12種類の水遊具があります。(利用時期：夏季)
	越の池 レストハウス※		音楽噴水を見ながら食事やスイーツが楽しめます。
フォリーの丘	展望台※		標高230mにある展望台からは、越後平野や信濃川など、360度の大パノラマが広がります。(冬期はトイレのみ利用可能)
	天・地・人の フォリー		フォリーの丘の頂上にある建物で、塔の高さは17.5m。カリヨン（鐘）や自動販売機、トイレがあります。

名 称		写 真	施設概要
フ ォ リ ー の 丘	雪割草群生地		雪解けとともに咲き、“春の妖精”とも呼ばれる雪割草。春の訪れを告げる雪割草の群生地は自然探勝路の途中にあり、毎年 1 万株ずつ植栽して数を増やしています。
	アジサイ園		緑の千畳敷の南側斜面に沿って植栽された、18 品種 18,000 株のアジサイが楽しめます。見頃の 6 月下旬には「あじさいまつり」が開催されます。
ふ れ あ い の 森	ふれあいの森		花や葉色を楽しめる宿根草・多年草と、樹木とが一体となった「林床・林縁花壇」が、四季折々の表情を見せます。
入 口 広 場	花と緑の館		波打った屋根が特徴の、開放感あるガラス張りの建物。館内では、クラフト教室や展示、ステージショーなども開催します。
	暖の館		シャワールーム付きの更衣室や乾燥室などがあります。2 階は「KIDSステーション」として屋内遊具が楽しめます。
	香りのばら園		6 種類の香りのタイプ別に植えられた「香りのエリア」や、宿根草類とばらとの調和が美しい「ばらと草花のエリア」など 7 つのエリアがあります。
	花の丘		3,000 m ² の丘一面に、春はチューリップ、秋はコスモスが咲き誇ります。丘のふもとから見上げたり、頂上から見渡したり、観る角度によって花の表情が異なる風景を楽しめます。
自然探勝路			健康ゾーンを囲む丘陵の樹林内にある約 3km の散策路。四季折々の自然を楽しめます。冬期間は土日祝日限定でスノーシューコースとして利用できます。

2) 里山フィールドミュージアム

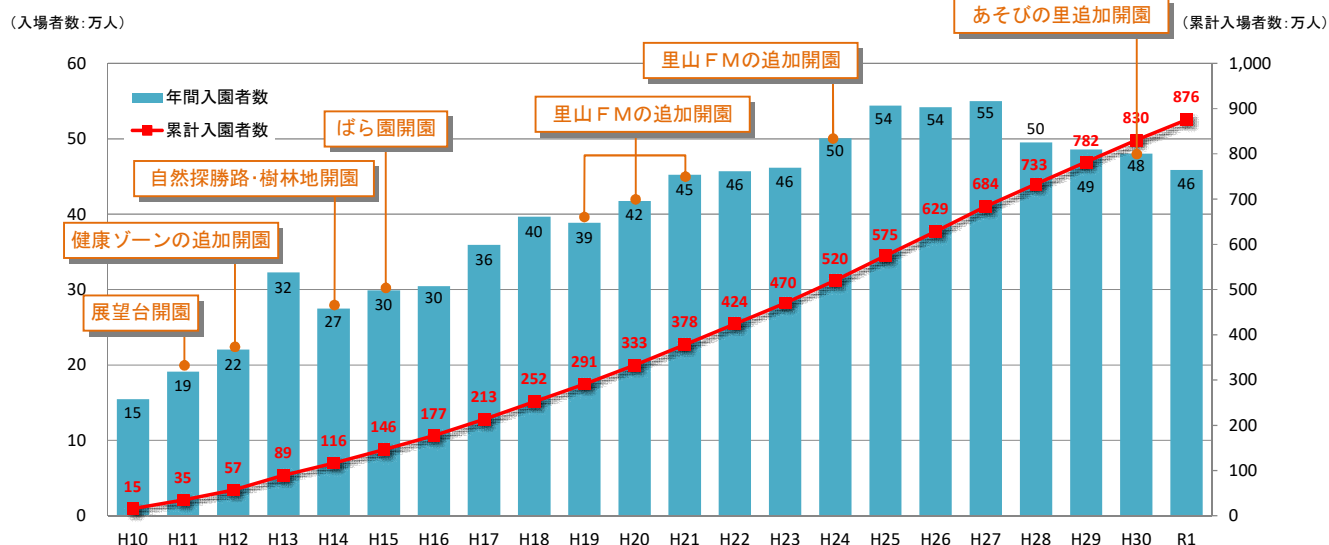
※…冬期休止

名 称		写 真	施設概要
里の水辺区	越の里山館※		明治初期に建築され中越地震にも耐えた旧山古志地域の古民家の部材を活用して建てられました。里山の暮らしや養蚕、織物等について展示しています。
	古民家※		雪国越後のかや葺民家。長岡市寺島町にあった江戸時代後期に建てられた民家を復元しています。前には水田や畑もあり、毎年、無農薬有機栽培の“ころりん米”などを育てています。
	里山体験工房かたくり※		昔ながらのかまどや調理台などを備え、里山の食文化や草木染めなどの体験プログラムを開催している施設です。
花の水辺区	里山交流館えちごにあん※		里山の旬の情報を発信する拠点施設。水辺の生きものの水槽や昆虫標本の展示のほか、休憩スペースや自由工作コーナー、芝ソリグレンデもあります。
花の森	カタクリ大群落※		春を待ちわびたかのように、雪が解けた里山の斜面約 2ha に、100 万株のカタクリが開花します。
あそびの里	あそびの原っぱ※		2つのエリアに分かれた芝生広場には、新潟県初の「パークゴルフ公認コース」（公益社団法人日本パークゴルフ協会認定）が 18 ホール常設されています。
	草原の家※		更衣室、ロッカー、シャワールーム、多目的トイレ、授乳室があります。また、こちらでパークゴルフのクラブやボールを無料で貸出しています。
	森林遊具※		森林と一体となった林間広場では、幼児から小学生までを対象とした 10 種類のアスレチック遊具を楽しめます。

4. 年度別入園者数等

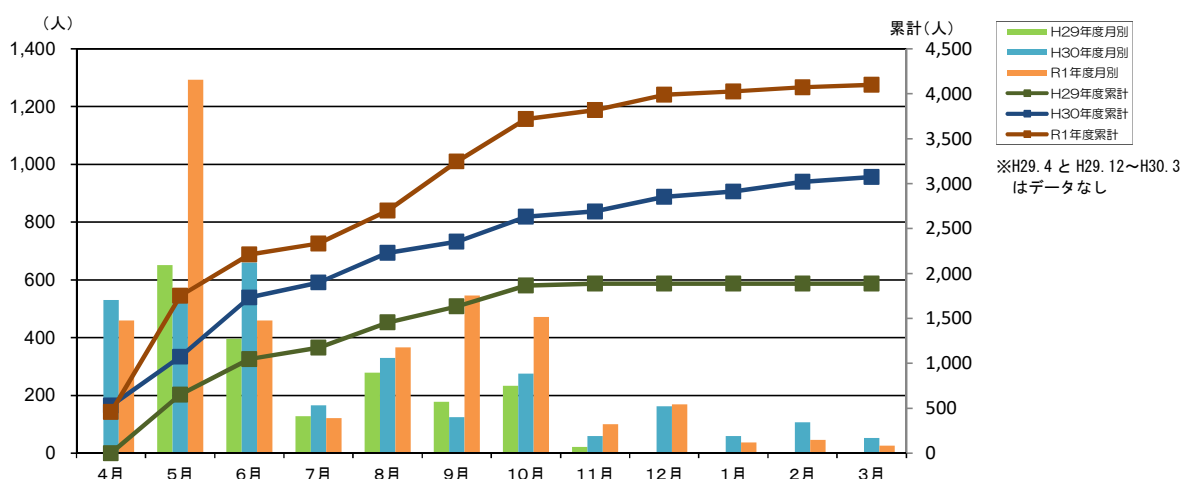
1) 入園者数

開園以来入園者が増加し、現在は年間 50 万人前後で推移しています。



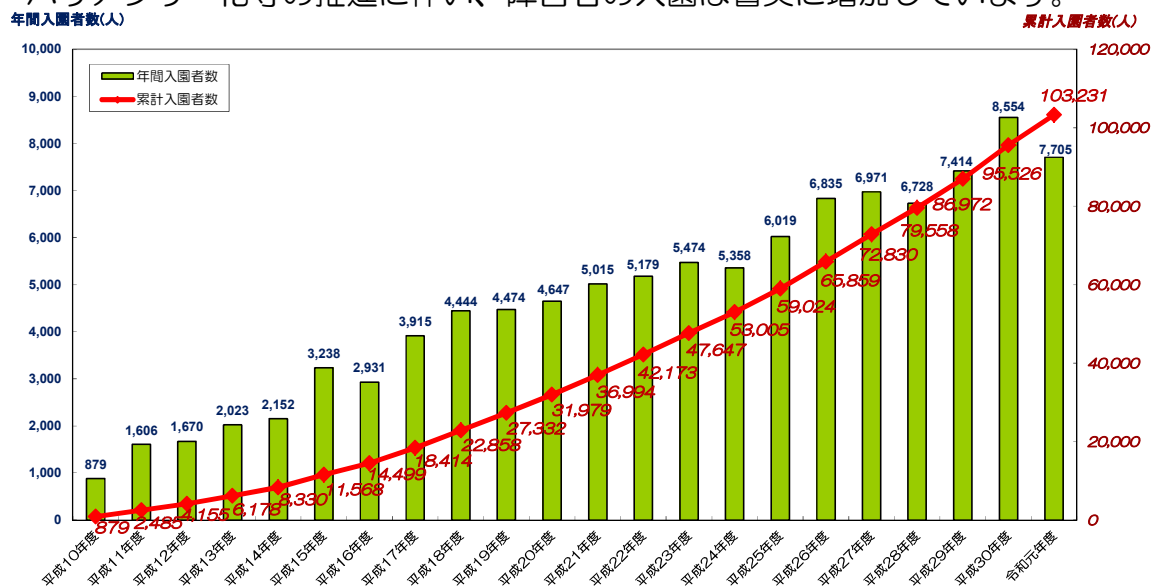
2) 外国人入園者数

H29～R1 年度にかけて年々増加傾向にあり、R1 年度は前年比約 1.3 倍に増加しています。



3) 障害者入園者数

バリアフリー化等の推進に伴い、障害者の入園は着実に増加しています。



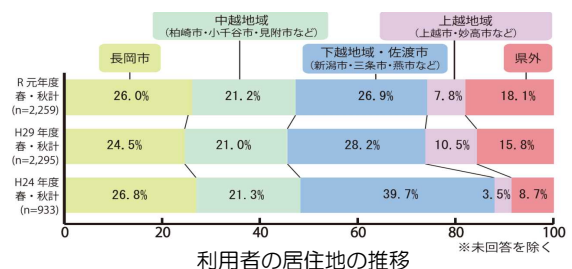
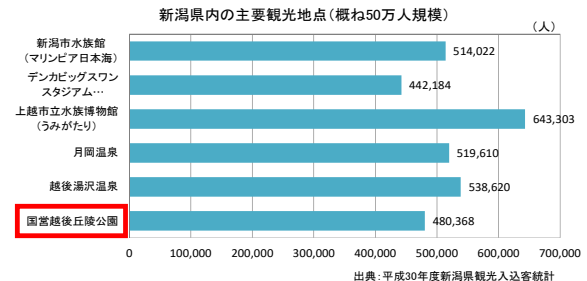
5. 公園のストック効果

国営越後丘陵公園では、地域の観光資源と連携した魅力ある公園施設の整備や、園内の豊かな自然環境の保全と活用を継続的に進めることで、以下のようなストック効果を発揮しています。

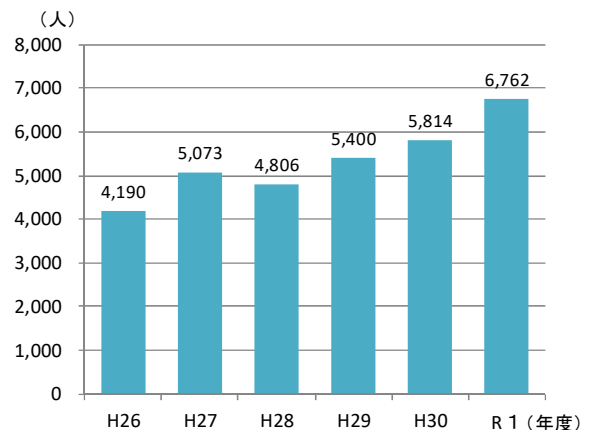
地域活性化効果（観光振興や地域住民の活力向上への貢献）

国営越後丘陵公園ブランドの主要なコンテンツの一つでもある「国際香りのばら新品種コンクール」を始めとした当公園の魅力を、関東圏など広い地域に情報発信することで、県内主要観光地に匹敵する利用者が来園しており、県外からの来園者も増加傾向にあるなど、長岡地域の観光交流拠点として周辺の観光関連施設への波及効果を及ぼすことにより、観光振興効果を発揮しています。

また、里山フィールドミュージアム（あそびの里）の追加開園や健康ゾーン内の施設再整備（暖の館のリニューアルなど）により、地域の方々が日常的に楽しめる空間を充実させることで、地域住民の活力向上に資する効果を発揮しています。



パーティションを撤去し、広い床空間を確保（暖の館）



里山フィールドミュージアムで開催された環境学習プログラム述べ参加人数

自然環境保全効果

林床の植物育成を目的にした樹林環境整備等によって維持されてきた広大な樹林地や希少種の保全等により、地域の生物多様性向上に資する効果を有しています。また、それらをいかした環境学習プログラム等の展開により、来園者の自然環境に対する興味・関心を高め、環境保全意識の啓発につながる効果を発揮しています。

地域の防災・減災に係る効果

中越地震発生時には陸上自衛隊の災害派遣活動や被災者支援の拠点として活用されるとともに、陸上自衛隊が円滑かつ効果的に本公園を活用できるよう、公園の占用に関する協定を締結するなど、地域の防災・減災機能の向上に資する効果を発揮しています。



自衛隊災害派遣活動の拠点として提供した駐車場

2. 令和7年度までの整備及び管理運営の方針等

①今後5年間の整備・管理運営の重点事項

(1) 基本目標

当公園は、平成10年の開園以来、「天に学び、地に遊び、人と集う、越の里」を基本テーマとして継続的な整備を進めており、計画面積約400haのうち約340haが開園しています。今後は、広大な自然環境を有する里山フィールドミュージアムの未開園区域について整備を進めるとともに、その活用によって新たな魅力や機能を付加することが課題となっています。

また開園から20年以上が経過し、施設の老朽化や陳腐化が進み、それに伴い健康ゾーンの一部では利用率の低いエリアが存在するなど、既存施設の再整備による魅力の再創造が求められています。

以上のような現状の課題、及び社会情勢の変化などを踏まえ、令和7年度までの整備・管理運営の重点事項を以下のように決めました。

①全面開園による魅力の強化と利用快適性の向上

里山フィールドミュージアムの未開園区域の全面開園や東ロゲートの新規オープンによって、幅広い利用者層に向けた新たな魅力を提供します。

また最新の情報技術（ローカル5GやAIなど）を活用した情報提供や、案内施設の多言語化等により、訪日外国人旅行客への対応を含めたユニバーサルデザイン化の継続的な推進によって、利用者が安心して快適に利用できる公園を目指します。

②長寿命化によるコスト縮減と再整備による魅力の向上

既存の公園施設について、長寿命化計画に基づく予防保全管理を徹底してトータルコストの縮減を図るとともに、老朽化施設や利用率の低いエリア（銀河の丘、フォリーの丘など）の再整備によって、社会のニーズに即した新たな魅力を創出します。これらにより、サービスの質の確保とコスト縮減の両立を目指します。また利用者の安全・安心を確保するため、感染症対策、獣害対策に十分な配慮を行います。

③災害に強い地域づくりへの貢献

災害時の広域防災拠点として位置づけられている健康ゾーンでは、駐車場や污水排水施設の整備などによって、災害時の円滑な復旧活動に貢献します。

また、里山フィールドミュージアムの未開園区域の整備推進により、災害時に利用可能なスペースをさらに拡充するなど、一次避難地としての機能確保を進め、災害に強い地域づくりに貢献できる公園を目指します。

④地域の観光資源や産業との連携による活力ある地域づくりへの貢献

北陸自動車道大積スマートIC（仮称）及び長岡ニュータウン連絡道路の新規整備を見据え、広域的な観光資源や文化・産業との連携を一層強化し、活力ある経済・生活圏の形成に貢献します。また民間企業を含め、地域の多様な主体との連携・協働を進め、地域の活力向上に資する公園を目指します。

⑤里山ならではの自然環境の保全と多面的・複合的な利活用

公園区域内の特徴ある里山環境を、ボランティアの協力のもと、適正な管理を行って本来の姿の維持を継続的に進めることにより、地域の生物多様性向上に貢献します。

里山フィールドミュージアムにおいて、自然探勝、スポーツ・レクリエーション、環境学習の場といった多面的・複合的な利活用を促進し、新たな魅力や機能を提供する公園を目指します。

（２）各ゾーンの目標

①健康ゾーン

《施設の再整備により、高齢化社会にも対応した魅力ある「花と緑の空間」の再創造を目指します》

高齢者や訪日外国人旅行者を含む、幅広い利用者層が公園を快適に利用して頂けるよう、国営越後丘陵公園ブランドである香りのばら園や、多彩な花空間の充実に引き続き取り組むとともに、広大な緑の空間をより楽しんで頂けるように、既存施設の再整備を進めます。



香りのばら園



アジサイ園



花の丘（コスモス）

②里山フィールドミュージアム

《未開園区域の全面開園により、里山の自然とスポーツ・レクリエーションを満喫できる多彩なフィールドミュージアムを目指します》

ボランティアの方々の協力を得ながら、越後の里山ならではの植物の植栽や林床の整備を行って、美しい里山の風景と環境の維持・拡大を図ります。

また、追加開園を予定する「かわべの里」「森のめぐみの里」では、開園済みの「あそびの里」とあわせ、里山フィールドミュージアムならではの風景と環境を活用した、多様なアウトドアスポーツ・レクリエーション空間として、幅広い利用者層に魅力を提供します。



雪割草群生地



あそびの里（ランニングバイク）



古民家（稲刈り体験）

②整備方針

(1) かわべの里の整備によるアウトドアスポーツ・レクリエーション空間の拡充

→重点事項①

「かわべの里」においてマウンテンバイクコースや関連する便益施設等の整備を進め、追加開園を目指します。

これにより、「あそびの里」と連携したアウトドアスポーツ・レクリエーション空間としての機能を強化し、幅広い利用者層に魅力を提供します。

整備にあたっては、里山の風景と環境の保全・活用に十分配慮するとともに、専門家の指導を受けながら事業を進めます。



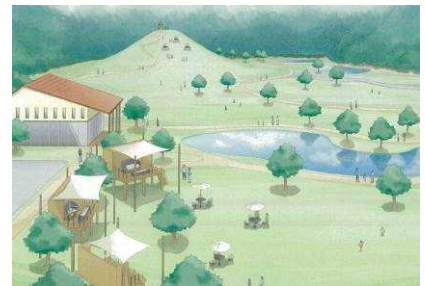
かわべの里のイメージ

(2) 森のめぐみの里の整備による里山フィールドミュージアムの新たな魅力の創出

→重点事項①

「森のめぐみの里」において、花木園、見晴らしの丘、疎林広場、修景池（調整池）、拠点施設、東口ゲート、駐車場等の整備を進め、追加開園を目指します。

これにより、地域団体、学校と連携し、森のめぐみを享受しあえる魅力的な広場空間を創出し、里山フィールドミュージアムのエリア全体の利用を推進します。



希少樹林（イメージ）



せせらぎ（イメージ）

森のめぐみの里整備

東口ゲート整備

花木園整備

かわべの里整備



駐車場周り（イメージ）

整備概要図

③管理運営方針

(1)休憩施設や便益施設の充実による

利用快適性・サービスの向上 →重点事項①

緑の干置敷など日陰を提供する休憩施設が不足しているエリアでは、パラソルやタープ等のレンタルサービスを行い、日陰空間を提供します。また自然探勝路など、座って休める場所の不足が指摘されているエリアでは、ベンチの増設により快適性を高めます。また、障害者に配慮したバリアフリー化や、トイレ改修、授乳室の増設などにより利用者の快適性・サービスの向上を図ります。

駐車場の再整備により、利用のしやすさと不足する駐車容量の拡大を図ります。また混雑時の不満を解消する適切な誘導対応などのサービス向上に努めます。



ニーズの多様化に対応するトイレ改修

(2)訪日外国人旅行者への対応も含めた園内サービス、ガイド機能の向上 →重点事項①

サインの多言語化により利用しやすさの向上を図るとともに、Wi-Fi環境の整備やローカル5Gの導入を引き続き推進し、訪日外国人旅行者への対応も含めた園内サービス、ガイド機能の強化を図ります。

また、外国人のニーズの把握を継続して行うとともに、インバウンド促進にむけた公園ルールの周知やサービス、園内スタッフの教育を行います。



無料Wi-Fiの整備
(花と緑の館)

(3)効果的な情報発信による利用促進

→重点事項①

SNSの更なる活用や外国語での情報発信など、多様な広報媒体を最大限に活用し、公園の施設情報やイベント情報の発信を継続的に実施していきます。



SNSによる情報提供

(4)既存施設の長寿命化と再整備による魅力の向上

→重点事項②

健康ゾーンでは、主要建築物や木製遊具等について、長寿命化計画に基づく予防保全対策管理を徹底し、コストの縮減を図ります。

また、銀河の丘・フォリーの丘など、利用率の低いエリアの再整備に着目し、高齢者を含む利用者が、気軽にゆっくりと時間をかけてくつろげる空間づくりを目指し、「広大な空間を活かしたダイナミックな花空間の創出」、「周遊性を向上させる園路や眺望をいかした施設の再整備」等を進めます。



フォリーの丘

(5)里山フィールドミュージアムの快適性・安全性の向上
→重点事項②

里山フィールドミュージアムでは、利用者の多いカタクリ大群落周辺の園路について、老朽化した案内標識等の再整備により利用者の利便性の向上を図るとともに、利用者の少ない散策路の廃止・統合を行い、維持コストの削減を図ります。併せてボランティアの協力のもと、林床植物の群生地の保全やトレイルランニングコースの整備拡充によって魅力を向上し、利用の促進を図ります。



トレイルランニングコースづくり

(6)利用者の安全、施設の機能の確保

→重点事項②

遊具の点検等、日常点検を基に適切な補修を行って、施設の長寿命化を図るとともに、利用者の安全・安心を確保します。

また、利用者への注意喚起や三密対策、除菌・検温等のサポート、園内施設の消毒など、感染症予防対策に十分配慮した管理・運営を進めます。

自治体とも連携しながら、近年の課題となっている獣害対策に取組み、利用者の安全を確保します。



木製遊具点検

(7)効率的な管理運営

→重点事項②

新技術・情報技術の活用による効率的な管理運営の実現に向け、ロボット芝刈り機等の導入を進めます。

また、引き続き、雨水の利用や、太陽光発電などエコエネルギーの活用による環境負荷の低減にとりくみます。



ロボット芝刈り機(イメージ)

(8)自治体等との連携による災害時の迅速な対応

→重点事項③

災害発生時において復旧活動等の支援に迅速に対応できるよう、自治体等との連携を図ります。

また、新たに開園する森のめぐみの里のオープンスペース等を活用し、災害時の一次避難地としての機能確保など、自治体の防災対応を支援します。

この他、来園者の防災意識向上のために、園内での防災体験プログラムを定期的実施します。



楽しみながら防災意識を高める
キャンプの楽校

(9)新規道路整備を契機とした広域圏からの利用促進 →重点事項④

国営越後丘陵公園ブランドでもある香りのばらまつりなど、現在の人気イベントを継続し、より幅広い利用者層が参加できるよう関連イベント等の拡充を図るとともに、北陸自動車道大積スマート IC（仮称）、長岡ニュータウン連絡道路の新規整備を契機として、これらを広域にPRし、関越自動車道経由での関東方面からの利用誘致に加え、上越・北陸・長野方面からの誘客を促進します。



香りのばらまつりとローズウエディングのコラボレーション

(10)地域連携の強化による利用促進

→重点事項④

北陸自動車道大積スマート IC（仮称）の開通を活かし、雪国植物園、県立歴史博物館、道の駅「ながおか花火館」など、近隣の施設との共同イベントの開催や地元行政と協働した取組みの展開により、地域連携を強化します。

また、地元の産業や、地域の生産者・JA 等との連携・協働を強化し、地場製品のPRや地産地消活動にも貢献します。さらには、広域的な連携強化として、見附市のイングリッシュガーデンを始めとする周辺資源と歩道を合わせたガーデンツーリズムの取組みを進めます。



新潟県内の花修景施設と連携したフラワースタンプラリー

(11)里山の保全と活用

→重点事項⑤

里山の自然環境を楽しむ学べるフィールドとして、間伐や下草刈りなどの適正な樹林管理を行っていくことにより、生物多様性の保全にも資する健全な里山を維持し活用していきます。

また、追加開園となるエリアも含め、こうした里山の良好な景観と環境を活かしながら、トレイルランニング、ノルディックウォーキング、マウンテンバイク、デイキャンプなどの場としての利用を強化していきます。



ボランティアによる下草刈り

(12)公園パートナーとの協働

→重点事項⑤

NPO やボランティアとのパートナーシップによる公園づくりを進めるとともに、地域のコミュニティを育む場として支援します。

また親子でボランティアに参加できる機会を増やすなど、活動の楽しさを伝え、ボランティアの輪を広げる取組みを進めます。



ボランティアガイドによるばら園の案内

④事業に伴い期待される効果

整備・管理運営方針に基づいた施策を実施することにより、以下のような事業効果が見込まれます。

地域活性化

- ・里山フィールドミュージアムの全面開園や東ロゲートの新規オープンにより利用者の増加が見込まれます。これにより、周辺観光施設等への波及効果が及ぶことで、地域活性化効果が強化されます。
- ・新規道路整備を契機として、「香りのばら園」など国営越後丘陵公園のブランド力を効果的にPRすることで、広域圏から当地域への観光利用を促進する効果が期待できます。
- ・地元の近隣施設などと連携し、イベントによる協力や共同事業を強化することにより、地域の観光振興に貢献します。
- ・健康ゾーンの再整備により、魅力ある「花と緑の空間」が再創造されることで、高齢者をはじめとした幅広い利用者層への訴求力が高まり、地域の魅力づくりに貢献します。



長岡のブランド「長岡花火」とのコラボイベント



寺泊水族博物館と連携した出張展示

自然環境保全

- ・ボランティア等との協働活動により、里山として自然環境に対する適切な管理作業を継続することで、地域固有の生物生息環境の保全など、自然環境保全効果が維持されます。
- ・ボランティア活動の支援や、自然とふれあう親子向けのプログラムを開催し、失われつつある里山の大切さを多くの人々に知って頂くことで、環境保全活動を持続的に支える人材が育成されます。



田んぼの生き物観察会

地域の防災・減災

- ・里山フィールドミュージアム未開園区域が全面開園し、災害時に活用可能なオープンスペースが拡充し、一次避難地としての機能が確保されることにより、地域の防災・減災に係る効果が強化されます。
- ・さらに、災害時を想定した防災体験プログラムを定期的実施することにより、地域住民や来園者の防災意識向上に貢献します。



地域の防災対策との連携

本プログラムは、事業の進捗状況などを踏まえて、適宜見直しを行っていきます。